

学校名	新座市立野火止小学校
実施日	令和 5年 1月18日

＜記入の仕方＞

○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自項目」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、児童理解に努め、児童の特性に応じた支援・指導を行っている。	A	管理職、特別支援コーディネーターを中心に配慮を要する児童についてよく話し合われており、共通理解を進めることができた。 児童一人一人の課題に対して個別の支援計画に基づき対応している。また課題を担任だけ任せず、学校全体で対応している。	B	教職員間の連携がよく取れている。担任だけでなく学校全体で対応しようと努力している。児童の特性に応じた指導に学校全体で対応している。一部に若い先生や力不足を感じられるが更なる向上に向けて奮起してほしい。 保護者の評価が低いことが課題。
2	学校は、研修意欲を高めながら、校内研修や公開授業を積極的に行っている。	A	昨年度から引き続き「よく考え、深く学ぶ、のびっこの育成」のテーマで研修を進めることができた。 各学年が課題研修に取り組み、授業改善の工夫が見られる。また年次研修等の公開授業を多くの教員が参観し、互いに学び合うことができている。	A	授業改善には研修が大切である。積極的に行われていてよい。 学校全体で課題に取り組んでいる姿勢を高く評価したい。
3	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	コロナ禍で減ったものが戻りつつあり、様々な支援が計画的に実施されている。図書ボランティアや大学生の学習支援ボランティアなど支援が行き届いている。 本年度は特に5・6年生のミシンサポーターの方々からの手厚い支援を得て、授業を進めることができた。	A	自校はボランティア・サポーター、地域・保護者との連携がとてよくできている。 コロナ禍の中、ボランティア、保護者・学校・地域間の連携が図られ計画的に実施されている。 安全対策等きちんとしている。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は、校務分掌や主任制を適切に機能させ、組織的な運営・責任体制を整備するとともに、働き方改革に取り組んでいる。	A	分掌により大きな負担があるものもある。キャリア等をふまえた分担という観点では仕方がないところもあるが、分掌内の仕事を細かく分けたりすることにより、配慮しながら適切に機能させることができた。	B	負担に思われものもあるが、それぞれ分担して、配慮により、適切に機能させている。 負担の部分があるが、体制を整えようとしている。
5	学校は、学校経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて改善計画を考え学校経営を行っている。	A	学校だより等を活用して、改善計画を示すことができた。 評価については実施からの反省や学びをもとに改善の計画をたてた。	A	改善計画を示すことで学校経営に反映させる努力をしている。 保護者、教員が学校評価を生かしている。学校だよりを活用して改善計画を示している。
6	学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	危機管理マニュアルを作成し、組織は整っている。本年度も不審者対応訓練、防災訓練も実施することができた。引き渡し訓練は1・3・5年の保護者を対象に実施し、来年度以降も半数ずつの保護者を対象に実施することとして、保護者の負担も軽減する予定である。	B	不審者、防災訓練等保護者と連携して実施できた。いつ何が起きるかわからない有事に対応できる体制を引き続き整えていただきたい。 危機管理については、やりすぎはないので、常に取り組んでほしい。今まで通りではなく充実させてほしい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	指導と評価が一体化している授業が展開されるように、校内研修や管理職による教室訪問で評価・改善策の提案、指導を行うことができた。 研究委嘱3年目となる来年度の研究発表で成果を発揮できるよう引き続き取り組む。	A	研修に力を入れていることが、授業に反映されているように思う。 学力の向上も図られ児童、先生、学校地域共に一体となって課題に取り組んでいると思う。
8	学校は、各教科の指導において「見方・考え方」を軸とした授業を展開し、資質・能力の三つの柱の育成に努めている。	A	学力向上プランを一新し、「見方・考え方」の育成の具体化を図ることができた。また校内研修を通して、「見方・考え方」を軸とした研修を進め、授業の中で実践していく。	B	「見方・考え方」を軸にした授業を展開させるための努力をしていると思う。先生方の授業に対する姿勢と取組を高く評価したい。
9	学校は、学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A	校内研修の場を中心に、発達段階や系統性を学び、これらを意識した指導を行えることができていた。結果として国・県の学力状況調査において成果が見られた。	A	児童の発達段階を意識した指導が行えていると思う。 学力の向上が見られる。埼玉県学力学習状況調査の結果を踏まえ、学校としての向上心が見られる。

10	学校は、カリキュラムマネジメントを推進しsociety 5.0を自在に生きる力を身に付けた児童生徒の育成に努めている。	A	GIGAスクール構想の実施3年目を迎え、児童一人一台の端末を活用した授業づくりについては、少しずつではあるが進めることができています。 引き続き活用にあたっての工夫と、校内での実践の共有を進め、全教員がICTを活用したカリキュラムマネジメントを行えるよう取り組んでいく。	B	教員がICTを活用しての指導をするために、準備や学ぶことがたくさんあると思いますが、努力をされていると思う。 更なる向上に向けて取り組んでほしい。
----	---	---	--	---	--

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつしたり、「です、ます」をつけるなど場に応じた言葉遣いを実践したりできるよう指導している。	A	全教員で徹底する雰囲気醸成することができた。その成果として出来ていない児童にはその場で指導をしたり、普段からできている児童を褒めたりなど言葉遣いを正そうとする姿勢を見せることができた。	A	校内では児童からも教職員からも、とても気持ちのよい挨拶をしてもらっている。 全教員で徹底する雰囲気が醸成されている。少しずつ成果が見られる。更なる土力をしてほしい。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さを認めて合せて学校生活を送れるような環境を整備している。	A	管理職をはじめ、全教員で児童を見ていく体制を取ることができた。今後も早期発見、早期解決を進めていくとともに、いじめがおこらない予防的な学級経営、指導を進めていく。	A	トラブルに対して、早期発見、早期解決を心掛けていると思う。 学校をあげての取組、チームワーク環境が整っている。管理職の素早い対応を評価する。
13	学校は、教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	A	教職員は、教育公務員としての自覚と使命感をもって指導にあたっている。キャリアや考え方の違いを埋めるため、引き続き声を掛け合うよう努めている。 物品管理等の面で、意識に差があり、指導の共通化が図られていない面が見られるので、共通理解のもと指導にあたるよう徹底を図っていく。	A	教職間の共通理解をもって、引き続き指導していただきたい。 日々、普段の取組を評価したい。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A	コロナ禍での教育活動の継続の中で、体育的行事、体力向上を図ることの困難さはあるが、本年度はほぼ、コロナ禍前の体育的行事に戻すことができた。全校での体育朝会、業間マラソンなども計画的に取り組めた。また教具の充実も図ることができた。	A	体育的行事も復活するなど児童たちの楽しむ姿がより多く見られるようになった。 コロナ禍の中、創意工夫、計画的に取り組むことができ評価する。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	給食の解説を毎日、学級に配布するなど、給食への関心を寄せられるようにしている。 保健だより等で感染防止、健康管理に向けた情報の知らせ方を工夫している。	A	食育の取組は積極的におこなっている。 給食の解説や感染防止、健康管理、情報発信に努めている。評価したい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	保護者アンケートをWEB上で実施して3年目となり定着が図られ、回答数も更に向上した。 要望があった場合はすぐに管理職に届く伝達のラインを確保し、迅速に対応することができた。	A	保護者地域への対応が適切になされている。 管理職、教員の共有体制が整っている。早期対応ができている。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	授業や学校行事の様子など、普段の子供たちの様子を発信することができた。 本年度から実施したモーニング・ミニコンサートには多くの保護者に参観いただき、児童の取り組みを見ていただくとともに、児童の活動に対してたくさんの称賛の声をいただくことができた。	A	家庭や地域への情報発信を積極的に行っている。と思います。 更なる向上をお願いしたい。
18	学校は、コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進により、社会に開かれた教育課程の編成・実施を行っている。	A	米作り体験や家庭科のミシン指導など児童の学びと、教員の負担軽減に大きな効果がある。 給食食材を提供してもらっている農家への訪問や野火止用水に関して地域の方からの学びなど、地域の良さを体感し、ふれあう機会を多くもつことができた。 花ボランティアや、安全パトロールなど保護者、地域の方々からの支援を得ながら安全安心で、潤いのある環境づくりを進めることができた。	A	地域人材を活用した、教育活動を行っている。 地域と学校の連携が図られ、コミュニティ・スクールが実践されている。高く評価したい。